

# 1 総会に関する事項

平成30. 5. 28 午後2時から国立新美術館講堂において第82回定時総会を開催し、下記の事項を決定した。

- 審議事項
- 第1号議案 平成29年度事業報告承認の件
  - 第2号議案 平成29年度決算承認の件
  - 第3号議案 平成30年度事業計画書報告の件
  - 第4号議案 平成30年度収支予算書等報告の件
  - 第5号議案 定款の一部変更承認の件
  - 第6号議案 役員報酬規程の一部変更承認の件
  - 第7号議案 会員人事報告の件
  - 第8号議案 理事・監事の改選承認の件

- 報告事項
- 日展規則の一部変更報告の件
  - 平成30年度名誉会員及び特別会員称号授与予定者報告の件
  - 日展パートナーズ運用開始報告の件
  - 改組新 第4回日展巡回展開催報告の件 他

# 2 理事会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成30. 5. 14	第1回	1. 平成29年度・事業報告及び決算承認の件 2. 定款の一部変更案承認の件 3. 役員報酬規程の一部変更案承認の件 4. 理事の定年に関する理事会申し合せ事項の件 5. 選定顧問の件 6. 理事・監事の改選の件 7. 平成30年度 名誉会員及び特別会員称号授与予定者承認の件 8. 改組新 第5回日展 開催要綱承認の件 9. 改組新 第5回日展 審査員候補者推薦委員会の委員承認の件 10. 審査員選考に関する検討事項の件 11. その他 報告事項 理事長、副理事長の職務執行状況について 退会者及び会友辞退者について 改組新 第4回日展巡回展大阪会場決算書について
平成30. 5. 28	第2回	1. 理事長(代表理事)・副理事長の選定の件
平成30. 6. 26	第3回	(書面による決議) 1. 「日展運営委員会」の設置に関する件 2. 平成30年度 特別会員称号授与予定者の追加に関する件
平成30. 7. 26	第4回	1. 改組新 第5回日展審査員・係承認の件 2. 日展会場における作品の写真撮影に関する件

平成30. 11. 1	第5回	報告事項 日展運営委員会について 改組 新 第5回日展審査員総会日程について 退会者及び会友辞退者について 他
平成31. 3. 25	第6回	報告事項 理事長、副理事長の職務執行状況について 会友辞退者について 1. 日展運営委員会 委員の補充承認の件 2. 改組 新 第5回日展巡回展に関する件 富山会場の会期変更について (報告) 基本選定作品承認について 陳列指導者の選考承認について 陳列指導料の変更について 1. 改組 新 第6回日展 観覧時間及び入場料金承認の件 2. 改組 新 第6回日展 出品手数料承認の件 3. 役員報酬規程の一部変更(案)承認の件 4. 内部審査員の手当の件 5. 平成31(2019)年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)等承認の件 6. 会員人事承認の件 7. 準会員人事承認の件 8. 会友人事承認の件 9. 改組 新 第6回日展 オープニング・パーティー承認の件 10. 日展規則の一部変更(案)承認の件 11. 日展パートナーズ規則の一部変更(案)承認の件 12. 改組 新 第6回日展巡回日程(案)承認の件 13. 定時総会の日程及び予定議題承認の件 14. 諮問委員会の新委員選考承認の件 15. 改組 新 第6回日展会場構成の件 16. その他 会友制度の見直し検討について 報告事項 内閣府公益認定等委員会 立入検査について 内閣府公益認定等委員会報告要求に対する追加報告書提出について 日展会館・新会館の施設利用料金及び日展陳列台貸出し料金の改定について 和光「第3回 美の魁け一日展の現代一」展について

### 3 監事会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成30. 5. 14	第1回	1. 平成29年度事業報告および決算承認の件

#### 4 審査員候補者推薦委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成30. 7. 11	第1回	1. 審査員候補者の選考承認の件

#### 5 係(展覧会)会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成30. 8. 8	第1回	1. 展示室 各科割り振りに関する件 2. 入場料金に関する件 3. 特別入場券販売促進に関する件 4. 「日展目録」表紙承認の件 5. 入場券および招待状等印刷物承認の件 6. 各科審査員打合せ会承認の件 7. 係アシスト承認の件 8. 出品者懇親会承認の件 9. 事務日程に関する件 10. 各科展覧会の記録に関する件 11. その他

#### 6 審査員総会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成30. 10. 3	第1回	1. 各科審査主任承認の件 2. 日展審査員行動基準(ガイドライン)等の確認、審査方針承認の件 他

#### 7 大臣賞選考委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成30. 11. 1	第1回	1. 内閣総理大臣賞の件 2. 文部科学大臣賞の件

## 8 東京都知事賞選考委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成30.11. 1	第1回	1. 東京都知事賞の件

## 9 日展会員賞選考委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
平成30.11. 1	第1回	1. 日展会員賞の件

## 10 委員会等に関する事項

### 委員の就退任に関する事項

平成30. 6.26 平成30年度第3回理事会（書面による決議）において下記委員会の設置を決定し委員を選任した。

〔日展運営委員会〕

北野 治男 藤森 兼明 神戸 峰男 武腰 敏昭 黒田 賢一 加藤 種男

平成30.11. 1 平成30年度第5回理事会において下記委員会の委員を補充した。

〔日展運営委員会〕

福田 千恵

平成31. 3.25 平成30年度第6回理事会において下記委員会の新委員を選考した。

〔諮問委員会〕

(外部委員)

黒川 廣子（東京藝術大学 大学美術館 美術情報研究室 教授）

富田 章（東京ステーションギャラリー館長）

富田 淳（東京国立博物館 学芸研究部長）

松村満美子（元NHKアナウンサー・ジャーナリスト）

室伏きみ子（お茶の水女子大学学長）

八 牧 暢 行（中央労働災害防止協会理事長）

(内部委員)

米倉 正美 西田 伸一 石黒 光二 林 香君 市澤 静山

令和元. 5.10 令和元年度第1回理事会において下記委員会の新委員を選考した。

(令和元～2年度委員)

〔日展ニュース委員会〕

川田恭子 水野 収 桑原富一 平野行雄 清家 悟 堤 直美  
相武常雄 月岡裕二 中村伸夫 西村東軒

〔出版委員会〕

河村源三 菊池治子 前原喜好 丸山 勉 九後 稔 寒河江淳二  
木下五郎 佐治ヒロシ 有岡 郊崖 日比野 実

〔広報委員会〕

東 俊行 曲子明良 大友義博 町田博文 櫻井真理 中原篤徳  
林 香君 藤田 仁 牛窪 梧十 原田玉童

### 諮問委員会

平成30年度における会合は1回開催

(第1回)平30.11.21

主な審議事項

1. 改組 新 第5回日展の応募状況・審査結果等について、事務局より委員に説明後、意見交換を行った。(第1回)
2. 改革5年の総括と今後の課題について、各科出席役員より現況等を説明後、意見交換を行った。(第1回)

### 日展運営委員会

平成30年度における会合は3回開催

(第1回)平30.7.11・(第2回)平31.2.19・(第3回)3.15

主な審議事項

1. 委員の互選により委員長を選出した。(第1回)
2. 日展会場での一般鑑賞者による展示作品の写真撮影に関する件について検討した。(第1回)
3. 現在の日展の課題(主に財政面の課題)について事務局より資料を配布、説明し、今後の取り組み等について意見交換を行った。(第1回)
4. 日展規則の一部(第39条)変更案について協議、検討した。(第2回)
5. 平成31(2019)年度予算案について協議、検討した。(第2回)
6. 今後の検討課題について意見交換を行った。(第2回)
7. 前回の検討内容を踏まえ、理事会に諮る平成31(2019)年度予算案について改めて協議、検討した。(第3回)
8. 日展パートナーズ規則の改定案について検討した。(第3回)
9. 顧問の大臣賞等選考会議への参加について意見交換を行った。(第3回)

## 日展ニュース委員会

平成30年度における会合は4回開催

(第1回)平30.5.22・(第2回)8.30・(第3回)11.16・(第4回)12.18

主な審議事項

1. ニュース169号の寄稿文(各科地方在住入選者1名 計5名/「日展ゆかりの美術館散策」シリーズ)の校正を行った。(第1回)
2. ニュース169号の掲載内容を検討、決定した。(第1回)
3. 平成29年度第5回理事会において日展ニュースの発行回数の変更(年4回→年3回)が決定したことを報告し、今後の発行時期、内容、頁数を検討し、編集方針を協議した。(第1回)
4. 発行回数・印刷部数の変更以外の経費節減について協議した。(第1回)
5. ニュース170号の掲載内容を検討、決定した。(第1回)
6. ニュース170号の寄稿文(各科ベテラン審査員・新審査員3名 計15名/「作家人生-私の仕事-」シリーズ 等)の校正を行った。(第2回)
7. ニュース171号の掲載内容を検討した。(第2回)
8. ニュース171号の座談会のテーマ(「新時代に向けて-平成の総括-」)を決定し、座談会での質問事項や出席者の人選等を検討した。(第2回)
9. ニュース171号の座談会を開催し、編集内容を検討、決定した。(第3回)
10. ニュース171号(座談会)の校正を行った。(第4回)
11. ニュース171号の寄稿文(各科新入選者3~6名 計15名 /「日展ゆかりの美術館散策」シリーズ、「教えて、作家さん!」)等の校正を行った。(第4回)
12. ニュース171号の掲載内容を検討、決定した。(第4回)
13. ニュース172号の企画(「作家人生-私の仕事-」シリーズ/「各地からの思い」/「日展ゆかりの美術館散策」シリーズ)等、掲載内容について検討した。(第4回)
14. ニュース172号の掲載内容を検討、協議した。(第4回)

## 出版委員会

平成30年度における会合は2回開催

(第1回)平30.7.26・(第2回)11.1

主な審議事項

1. 「日展アートガイド」を廃刊とし、同書に掲載されていた作家本人の作品解説・釈文(書)を「日展作品集」に盛り込むことにした。(第1回)
2. 改組 新 第5回日展刊行物の内容、発注業者、仕入・販売価格、印刷部数等を決定した。(第1回)
3. 従来の絵はがき製作者5社を見直し、自社で印刷を行っている3社に絞った。(第1回)
4. カラー写真の会員贈呈を廃止することにした。(第1回)
5. 会場限定で刊行物バックナンバーの割引販売を実施することにした。(第1回)
6. 今後の出版物について、意見交換を行った。(第1回)
7. 「日展作品集」の初版について、色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)
8. 「日展図録(日)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)
9. 「日展図録(洋)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)
10. 「日展図録(彫)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)
11. 「日展図録(工)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)
12. 「日展図録(書)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第2回)

## 広報委員会

平成30年度における会合は4回開催

(第1回)平30.4.23・(第2回)5.31・(第3回)9.4・(第4回)平31.3.15

主な審議事項

1. 改組 新 第5回日展告知キャンペーンの基本方針を確認、実施内容を検討した。(第1回・第2回)
2. 改組 新 第5回日展告知キャンペーンの進行状況を確認した。(第2回・第3回)
3. 各種ポスターの色、レイアウトを検討した。(第1回・第2回)
4. オープニング・パーティーの実施内容を検討した。(第1回)
5. オープニング・パーティーの会場を下見し、実施内容の細部打合せをした。(第3回)
6. 特別入場券の販売促進計画を承認した。(第2回)
7. 講演会・シンポジウム・映像による作品解説等について検討した。(第1回・第2回)
8. 特別講演について検討した。(第1回・第2回)
9. 日展作家インタビューの人選、内容について検討した。(第1回)
10. 改組 新 第5回日展のイベント企画案について検討した。(第2回)
11. 平成30年度の広報活動(告知キャンペーンを含む)の実施内容および実績について報告、問題点を検討した。(第4回)
12. 平成31年度の告知キャンペーンの基本方針について検討した。(第4回)

## アートプロジェクト

平成30年度における会合は3回開催

(第1回)平30.4.7・(第2回)平31.2.7・(第3回)平31.3.26

主な審議事項

1. 平成30年度の実施内容(夏休み1日ART体験「Oneday Art」、わくわくワークショップ、スクールプログラム等)を検討した。(第1回)
2. 「わくわくワークショップ」において、「作家への手紙」「作家からの手紙」を全部門で実施することとした。(第1回)
3. 平成30年度の反省点および要望事項をまとめ、平成31年度の実施内容(夏休み1日ART体験「Oneday Art」、わくわくワークショップ、スクールプログラム等)を検討した。(第2回)
4. 平成31年度の実施内容(夏休み1日ART体験「Oneday Art」、わくわくワークショップ、スクールプログラム等)を検討した。(第3回)
5. 2020年の夏休み1日ART体験「Oneday Art」の実施について検討した。
6. 「Oneday Art」から「わくわくワークショップ」への連動、記念バッチ等を検討した。(第3回)

アートプロジェクトの平成31年4月23日現在のメンバーは下記の通り。

[アートプロジェクト]

岩田 壮平	亀山 祐介	川田 恭子	能島 浜江	米谷 清和	大友 義博
桑原 富一	佐藤 祐治	佐藤 龍人	田辺 知治	星川 登美子	中島 健太
山田 朝彦	石黒 光二	中原 篤徳	野原 昌代	堀内 秀雄	山崎 茂樹
相武 常雄	青木 宏憧	加藤 令吉	月岡 裕二	林 香君	井上 清雅
師田 久子	高木 厚人	高木 聖雨	永守 蒼穹		

# 11 「日本美術展覧会」の開催

## 改組 新 第5回日本美術展覧会

1. 会 期 平成30年11月2日より11月25日まで 21日間

〔休 館 日〕 毎週火曜日

〔観覧時間〕 午前10時～午後6時(入場は午後5時30分まで)

11月9日(金)は「日展の日」 入場無料

2. 会 場 国立新美術館(東京都港区六本木7-22-2)

3. 応募点数並びに入選点数

( ) 前年度比

	第1科 日本画	第2科 洋 画	第3科 彫 刻	第4科 工芸美術	第5科 書	合計
応募点数	437 (-9)	1,751 (-81)	119 (-7)	708 (-12)	8,543 (+86)	11,558 (-23)
入選点数	167 (-9)	525 (+9)	92 (+7)	429 (+9)	1,041 (+13)	2,254 (+29)
新入選点数	26 (+4)	37 (-4)	11 (+5)	29 (-3)	217 (-51)	320 (-49)

新入選点数は入選点数に含む。

4. 陳列点数

( ) 前年度比

	第1科 日本画	第2科 洋 画	第3科 彫 刻	第4科 工芸美術	第5科 書	合計
入 選	167 (-9)	525 (+9)	92 (+7)	429 (+9)	1,041 (+13)	2,254 (+29)
無 鑑 査	138 (-7)	123 (-1)	156 (-5)	129 (-1)	146 (±0)	692 (-14)
計	305 (-16)	648 (+8)	248 (+2)	558 (+8)	1,187 (+13)	2,946 (+15)

無鑑査＝顧問・役員・会員・準会員・前年度特選受賞者



5. 審査員および係

審査員長(理事長) 奥田小由女

◎印 審査主任

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書
審査員	河合 正朝 新見 隆 吉中 充代	武田 厚 古川 爲之 若松 基	齊藤 泰嘉 仲居 宏二 米田 耕司	内田 篤呉 島 敦彦 原田 一敏	伊藤 滋 富田 淳 名児耶 明
	◎土屋 禮一 渡辺 信喜 上田 勝也 川崎 麻児 田島奈須美 村居 正之 手塚 恒治 中村 文子 仲島 昭廣 長谷川喜久 間瀬 静江 松崎 十朗 松崎 良太 南 聡 桑野むつ子 戸田 博子 平木 孝志	◎藤森 兼明 湯山 俊久 小灘 一紀 鈴木 順一 高梨 芳実 難波 滋 北本 雅己 佐藤 龍人 竹久 秀樹 浅見 文紀 小川 満章 児島新太郎 児玉 健二 阪脇 郁子 錦織 重治 福田あさ子 山田 郁子	宮瀬 富之 ◎山田 朝彦 石黒 光二 早川 高師 青山 三郎 上床 利秋 片山 博詞 櫻井 真理 田畑 功 竹谷 邦夫 堀尾 秀樹 阿部鉄太郎 梶川俊一郎 佐藤 敏明 徳安 和博 廣川 政和	◎春山 文典 吉賀 将夫 井隼 慶人 加藤 令吉 叶 道夫 木下 五郎 永澤 永信 古見 準士 山岸 大成 藏樂 瑞恵 高津 明美 林 香君 前川 正治 渡辺 洋子 高名秀人光 友定 聖雄 山元 健司	井茂 圭洞 ◎新井 光風 星 弘道 土橋 靖子 高木 厚人 中村 伸夫 伊藤 一翔 海野 濤山 遠藤 疆 田中 徹夫 中路佳保里 西村 東軒 森嶋 隆鳳 明石 聰濤 梶山 夏舟 田頭 央泐 吉田 成美

○印 係主任

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書
係	上田 勝也 川崎 麻児 田島奈須美 ◎村居 正之 手塚 恒治 中村 文子 仲島 昭廣 長谷川喜久 間瀬 静江 松崎 十朗 松崎 良太 南 聡 桑野むつ子 戸田 博子 平木 孝志	小灘 一紀 鈴木 順一 ◎高梨 芳実 難波 滋 北本 雅己 佐藤 龍人 竹久 秀樹 浅見 文紀 小川 満章 児島新太郎 児玉 健二 阪脇 郁子 錦織 重治 福田あさ子 山田 郁子	◎石黒 光二 早川 高師 青山 三郎 上床 利秋 片山 博詞 櫻井 真理 田畑 功 竹谷 邦夫 堀尾 秀樹 阿部鉄太郎 梶川俊一郎 佐藤 敏明 徳安 和博 廣川 政和	井隼 慶人 加藤 令吉 叶 道夫 ◎木下 五郎 永澤 永信 古見 準士 山岸 大成 藏樂 瑞恵 高津 明美 林 香君 前川 正治 渡辺 洋子 高名秀人光 友定 聖雄 山元 健司	◎土橋 靖子 高木 厚人 中村 伸夫 伊藤 一翔 海野 濤山 遠藤 疆 田中 徹夫 中路佳保里 西村 東軒 森嶋 隆鳳 明石 聰濤 梶山 夏舟 田頭 央泐 吉田 成美

6. 授 賞

大臣賞	第1科	文部科学大臣賞	村居 正之	暮れゆく時
	第2科	文部科学大臣賞	町田 博文	新雪の河畔
	第3科	内閣総理大臣賞	笹山 幸徳	合歓の花
	第4科	内閣総理大臣賞	佐治ヒロシ	永
	第5科	内閣総理大臣賞	高木 厚人	吉野山

東京都知事賞	第1科	長谷川喜久	白映に赤
	第2科	寺久保文宣	ECHOーアトリエの裸婦
	第3科	工藤 潔	harmony
	第4科	渡辺 洋子	森の詩
	第5科	中村 伸夫	藤田東湖詩句

日展会員賞	第1科	松崎 十朗	静かな時
	第2科	前原 喜好	集 落
	第3科	齋藤 尤鶴	風眩し
	第4科	久保 満義	東風2018・Ⅲ
	第5科	井上 清雅	康有為句

特 選

第1科	稲田 雅士	静かな夜に	猪熊 佳子	風の森
	大崎多実穂	画室の花	櫻井 伸浩	光の影
	竹内 昌二	追 想	戸田 淳也	鼓動の旋律
	新川 美湖	予 感	松永 敏	顔
	山田 まほ	山ノ囀	行近壯之助	崖
第2科	石井 康博	廃虚の鳩	一の瀬 洋	高原の冬
	上平 澄江	春 風	宇野 孝之	睦 月
	金築 秀俊	ボクサー	河本 昭政	室 内
	越谷なつみ	銷 夏	小林 理恵	横浜夕景29・観覧車
	待井 恭子	蒼のロンド	山本 浩之	春近し
第3科	秋田 美鈴	星にねがいを	岩谷 誠之	夏の終わりに
	岡本 和弘	はじまりのリズム	屋田 光章	ワンハート(ユメと私)
	加山 総子	海からの風	境野 里香	せいくらべ
	重政 信明	爽	丹羽 俊揮	友よ未来も
	森田 一成	花水木	安田 陽子	脚を組む女
第4科	大塩 正	光輝燦然	兼先 恵子	花守の刻
	川口 満	記憶∞創造	小島 泰明	唐草想起・オリエンズ
	小割 哲也	時空体	十二町 薫	白雲自在
	田中 貴司	望 郷	西川 勝	月のふね
	本間 秀昭	流紋ー2018	向山伊保江	つむぐ・杜
第5科	池田 毓仁	高啓詩	岡本 藍石	思
	小木曾郁子	古今集・四季	鹿倉 碩齋	成 歡
	梶山 盛濤	王阮亭詩	金子 大蔵	中尊寺
	藤川 翠香	花 影	真鍋 井蛙	關山陞陞蒼
	山内 香鶴	晚泊濟陽	湯澤 聡	月見草

7. 入場者数 合計107,412人 (21日間)

( ) 前年度(33日間)比

有 料	入場者数(人)	無 料	入場者数(人)
一 般 券	8,799 (-2,847)	招 待 券	44,120 (-5,177)
学 生 券	392 (-164)	美 術 学 生 券	517 (-248)
トワイライトチケット ( 一 般 )	2,976 (-599)	小中学生無料鑑賞券	4,834 (-842)
トワイライトチケット ( 学 生 )	237 (-88)	資 格 証	18,639 (-4,839)
一般券 (場外売)	102 (-33)	優 待 証	2,727 (+1,687)
一 般 団 体 券	3,241 (-1,094)	美術家連盟・評論家連盟	601 (-131)
学生団体[高・大]券	224 (-133)		
一 般 前 売 券	1,784 (+224)		
学生前売[高・大]券	37 (+23)		
特 別 入 場 券	14,347 (-2,260)		
新聞販売店用チケット	3,835 (-1,843)		
計	35,974 (-8,814)	計	71,438 (-9,550)

月日	曜日	入場者数(人)	月日	曜日	入場者数(人)
11/1	木	3,658	11/14	水	4,681
11/2	金	6,404	11/15	木	4,652
11/3	土・祝	3,825	11/16	金	4,721
11/4	日	3,055	11/17	土	4,685
11/5	月	2,437	11/18	日	5,485
11/6	火	休館日	11/19	月	4,867
11/7	水	2,758	11/20	火	休館日
11/8	木	2,936	11/21	水	5,943
11/9	金	(日展の日) 9,223	11/22	木	5,363
11/10	土	3,729	11/23	金・祝	8,155
11/11	日	3,969	11/24	土	6,811
11/12	月	3,636	11/25	日	6,419
11/13	火	休館日	計		107,412

※11/1は出陳者内覧会

## 巡回日展

改組新第4回展分を2会場、改組新第5回展分を2会場、計4会場で開催。

	開催地	開催期間	会場	開催者	入場者数(人)
改組新第4回展	大分	H30. 4. 5～H30. 5. 6	大分県立美術館	日展大分展実行委員会	12,594
	金沢	5.26～ 6.17	石川県立美術館	北国新聞社	22,775
改組新第5回展	京都	H30. 12. 15～H31. 1. 12	京都市美術館別館 みやこめっせ・日図デザイン博物館	日展京都展実行委員会	26,351
	名古屋	H31. 1. 30～ 2. 17	愛知県美術館ギャラリー	中日新聞社	48,524

## 12 美術に関する講演会及び講習会の開催

### 講演会・シンポジウム・映像による作品解説等

専門的・客観的視点でのテーマを設けた講演会や、各科独自にシンポジウム形式の討論会を行うほか、日展作家が映像を使って出品作品をわかりやすく解説する。

主催 国立新美術館 公益社団法人 日展

場所 国立新美術館 3階 講堂(入場無料)

11月3日 (土・祝)	午後 1:30～3:30 ※途中10分休憩	(洋画) 今年度審査主任と特選受賞者による座談会 藤森兼明・児島新太郎・上平澄江・河本昭政・小林理恵・待井恭子 (司会)丸山 勉 今年度審査員と新入選者による座談会 高梨芳実・北本雅己・春日幸子・菊池彩・茅原佳介・塚原貴之 (司会)町田博文
11月9日 (金) 【日展の日】	午後 1:30～3:00 ※途中10分休憩	(特別講演会) 「日展未来構想」～未来に向けての夢の提案～ 東京藝術大学大学美術館 館長 練馬区立美術館 館長 秋元雄史氏
11月10日 (土)	午後 2:40～4:40 ※途中10分休憩	(1時～2時30分 生誕110年 東山魁夷展 記念講演「窓と帽子—東山魁夷の芸術を読み解く」講師 野地耕一郎氏) (日本画) 「日本画を語る」今年度審査員と受賞者・新入選者による座談会 野地耕一郎氏 松崎十朗・手塚恒治・仲島昭廣・櫻井伸浩・新川美湖・山田まほ 行近壯之助・木村真光・北原明峰・工藤彩・佐古奈津実 (司会)長谷川喜久
11月17日 (土)	午後 1:30～3:30 ※途中10分休憩	シンポジウムによる討論会「彫刻を語る」 堤 直美 桑原秀栄 長谷川倫子 永江智尚 映像による作品解説「彫刻」 村井良樹 清家 悟 堀内有子 (司会)櫻井真理
11月23日 (金・祝)	午後 1:30～3:30 ※途中10分休憩	シンポジウム (1部・2部) 「素材・技法・表現」 春山文典・井隼慶人・加藤令吉・古見準士・高名秀人光・友定聖雄 (総合司会)木下五郎 (司会)林 香君
11月24日 (土)	午後 1:30～3:30 ※途中10分休憩	シンポジウムによる討論会「日展の書」 有岡郊崖(進行) 高木厚人 吉澤鐵之 土井汲泉 尾崎蒼石 映像による作品解説「書」 牛窪梧十 田中徹夫 遠藤 彊

※総参加人数 1,405名

(6日間 特別講演1回、シンポジウムによる討論会3回、座談会2回、作品解説2回)

## らくらく鑑賞会

出品作家達とゆっくり全科のダイジェストを鑑賞する。自己紹介から始まり、昼食や休憩などをはさみながら、鑑賞者が、作家、作品と一歩近づいて、展覧会を楽しむ。

主催 国立新美術館 公益社団法人 日展

場所 国立新美術館(日展会場)

	日本画	洋画	彫刻	昼食	書	工芸美術
	午前10:45～	午前11:30～	午後12:15～	午後12:50～	午後2:00～	午後2:45～
11月5日 (月)	川崎麻児	平野行雄	石崎義弘		関 吾心	古見準士
11月12日 (月)	手塚恒治	小関修一	齋藤尤鶴		岩永栖邨	山岸大成
11月19日 (月)	菊池治子	寺久保文宣	間島博徳		田中節山	前川正治

◆参加人数・・・26名 (会期中の月曜日3日間、全3回)

○上記プログラムの他に、団体との共同企画により以下の日程で鑑賞会を実施した。

主催 全日空社友会 公益社団法人 日展

場所 国立新美術館(日展会場)

	午前11:00～	午前11:45～	午後12:30～	午後1:40～
11月14日 (水)	米倉正美 (日本画)	松田 茂 (洋画)	昼食	(自由鑑賞)
11月15日 (木)	長谷川喜久 (日本画)	片岡世喜 (洋画)	昼食	(自由鑑賞)

※総参加人数 21名

## ニ 解説会

一人からでも解説が受けられる。来館時、好きな部門に申し込みをすれば、少人数の解説会に参加できる。

開催日程 改組 新 第5回日展会期中の平日 (土・日・祝日・初日、11月9日を除く)

午後1時30分～ 30分程度。

定員 各部門20名 (5部門)

◆参加人数・・・664名参加 (10日間)

## 13 美術鑑賞及び創作に関する体験講座等の開催

### アートスクール

イベントスペースを利用し、「日展アートスクール」を下記日程で開講。(有料)

指導：谷口勇三(日展準会員)

- ① 日展アートスクール33 「はじめての陶芸」  
平成30年4月～6月 合計6回開講
- ② 日展アートスクール34 「はじめての陶芸」  
平成30年7月～9月 合計6回開講
- ③ 日展アートスクール35 「はじめての陶芸」  
平成31年1月～3月 合計6回開講

### わくわくワークショップ

日展鑑賞を通じて“親子で一緒に感じる、考える、話す”時間を持ち、作品との出会い、発見などの体験を共有する。素材体験から鑑賞まで。

主催 国立新美術館 公益社団法人 日展

場所 国立新美術館 3階 講堂・研修室 各科陳列会場

		指 導 者				
		日本画	洋 画	彫 刻	工芸美術	書
11月4日 (日)	午前 10:30～	能島浜江 丸山 勉 米田 実	井上 武 菊池元男 前原喜好 星川登美子 佐藤祐治			井上清雅 河西撲堂 吉澤劉石
	午後 2:00～			(デモンストレーション) 阿部鉄太郎 (指導) 石黒光二 堀内秀雄 山崎茂樹 中村優子 中原篤徳 (サポート) 山田朝彦 原田治展 村山 哲 野原昌代 吉岡 徹 寺山三佳	田中嘉生 上原利丸 内藤英治 (サポート) 吉川真理	
11月11日 (日)	午前 10:30～	川田恭子 岩田壮平 稲田亜紀子	天野富美男 桑原富一 西山松生 渡邊 明			大澤城山 稲村龍谷 寺岡棠舟

	午後 2:00～			(デモンストレーション) 島田見根夫 (指導) 石黒光二 堀内秀雄 山崎茂樹 中村優子 中原篤徳 (サポート) 山田朝彦 原田治展 村山 哲 野原昌代 吉岡 徹 寺山三佳	安田佳代 林 香君 曾根洋司 (サポート) 高橋和則 村山恵子 山口和子	
11月18日 (日)	午前 10:30～	亀山祐介 野田夕希 森 美樹 伊東正次	田辺知治 栗原高光 倉林愛二郎 中島健太			
	午後 2:00～			(デモンストレーション) 梶川俊一郎 (指導) 石黒光二 堀内秀雄 山崎茂樹 中村優子 中原篤徳 (サポート) 山田朝彦 原田治展 村山 哲 野原昌代 吉岡 徹 寺山三佳	勝 孝 相武常雄 月岡裕二 田中照一 (サポート) 林 香君	植松龍祥 野田杏苑 岩村節盧

◎総参加人数 93 組 241 名

## 夏休み1日ART体験「第14回 Oneday Art」

「作品をつくる」体験をし、作品や作家とのかかわりを通して多様な世界観を学んでほしい—  
という日展の芸術文化普及活動。

制作した作品は鑑賞プロジェクトチームの指導のもとに陳列、8月17日から8月21日まで日展会館において展示した。参加者以外にも一般の鑑賞者、日展会員などたくさんの方が訪れた。

※共同制作の作品は、この他日展会場、パブリックスペースでも展示。

主催 公益社団法人 日展

後援 台東区教育委員会 荒川区教育委員会

独立行政法人 国立青少年教育振興機構 「子どもゆめ基金助成活動」

場所 日展会館・イベントスペース 他



		指導作家	時間	参加人数	内 容
7月25日 (水)	洋画	田辺知治 大友義博 桑原富一 佐藤龍人 星川登美子 茅野吉孝 佐藤祐治 中島健太	10:00 ～ 15:00	20組 34名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『3原色で描く花』(油彩・水彩)</li> <li>●F4のキャンバスを使い、静物(生花、夏野菜などのモチーフ)を木炭でスケッチ。油彩で着色。</li> <li>●作家のデモンストレーション</li> <li>●油彩画の特徴 油絵具の使い方を学ぶ。3原色から色を作っていく。</li> <li>●描きあがった作品にサインを入れる。</li> <li>●額に入れてみる。</li> <li>●講評。</li> </ul>
7月27日 (金)	工芸美術 (陶芸)	加藤令吉 林 香君 谷口勇三 (サポート) 井上英基 谷口直之 金井伸弥 水谷俊雄	10:00 ～ 12:00	16組 29名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『土器風のうつわ～縄文の模様』</li> <li>●土器風の器をつくる</li> <li>●陶芸に関する基礎知識。</li> <li>●耐火用の粘土を使用。基本的な技法を学びながら造形。参考作品を見て、出来上がりをイメージ。各自で用意したデザイン画をもとに制作。縄文風の紋様を施す。</li> <li>●作品は、(後日)乾燥後、炭化焼成。担当作家による仕上げ、最終チェック。</li> </ul>
	工芸美術 (織)	出居麻美 桂川幸助 平林芳子 広沢麗子 吉川真理 (サポート) 加藤令吉 林香君	13:00 ～ 16:30	7組 10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『”夏の風”をリボンで織ろう!』</li> <li>—自分のコースターを作ろう—</li> <li>・手作りの織機でコースターを織る。</li> <li>●作家のデモンストレーションで織に関する基礎知識を学ぶ。</li> <li>●予め縦糸を張った、手作りの織機を使用。参考作品を見て、出来上がりをイメージしながら、色々なリボンや毛糸、裂布などの横糸を選ぶ。</li> <li>●横糸の通し方など、基本的な技法を学びながら織りあげていく。</li> <li>●仕上げについての説明、片付け。</li> <li>●講評。</li> </ul>
7月29日 (土)	日本画	亀山祐介 川田恭子 能島浜江 岩田壮平 (サポート) 米谷清和 青鹿美奈 内田有美	11:00 ～ 16:30	28組 56名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『キラキラ金銀を使って日本画を描こう!』</li> <li>—掛け軸を作って飾ってみよう—</li> <li>●作品例を見せながら日本画の特徴を説明。画材(岩絵具や麻紙)や、日本画の基本的な技法や掛け軸の構造に関する知識を学ぶ。</li> <li>●金か銀の色紙を使用。制作の工程を説明。作家のデモンストレーション</li> <li>●各自用意してきたデザイン画を元に岩絵具などで描いた後、乾かす。</li> <li>●アクセントをつけたい箇所に筆で膠をひき、砂子をまく。半紙で押えて乾かす。</li> <li>●掛け軸のパーツを使い表装し、仕上げる。</li> <li>●講評。</li> </ul>
8月2日 (木)	書	井上清雅 師田久子 綿引滔天 (サポート) 角田大塚 松浦龍坡 斉藤真澄 尾花太虎 滑田耀齋 (監督) 高木聖雨 高木厚人 師田久子 永守蒼穹	13:00 ～ 16:00	17組 40名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『毛筆文字に親しもう!』</li> <li>●書に関する基礎知識。</li> <li>●ハガキ大に好きな文字を書き、ラミネート加工する。</li> <li>●自分の印を彫り、押印して作品を完成させる。</li> <li>●(→つくった作品を切手に)</li> <li>●色々な書体で書いてみる。</li> <li>●墨作り職人の実演。練った墨玉を握って、握り墨を体験。</li> <li>●講評。</li> </ul>
8月4日 (土)	工芸美術 (金属)	古瀬政弘 勝 孝 田中照一 古見準士 花形澄子 相武常雄 月岡裕二	13:00 ～ 16:00	23組 43名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『自分だけの時計を作ろう!』</li> <li>・15cm角のアルミ板を使い、板の中に銅や真鍮の網や針金を打ち込んで模様を作る。</li> <li>●金属に関する基礎知識。金属の特徴(種類・性質)を知る。</li> <li>●各自で用意したデザイン画をもとに、アルミ板をたたいていく。</li> <li>●異なる金属を打ち込み、色の変化を出す。</li> <li>●磨いて仕上げ。</li> <li>●講評。</li> </ul>

8月5日 (日)	彫刻	石黒光二 堀内秀雄 山崎茂樹 中村優子 中原篤徳 (サポート) 原田治展 野原昌代 村山 哲 堀尾秀樹 吉岡 徹 堀内有子 寺山三佳 安田陽子 廣川政和 加山総子 鈴木紹陶武 (オブザーバー) 山田朝彦	13:00 ～ 16:00	24組 47名	・『あっ！ひらめいた！』 ーこんな〇〇がいたらー ●彫刻に関する基礎知識。 ●(子供)木の土台とアルミ線、紙粘土による制作 台座の上にアルミ線の心棒と紙粘土の人物や動物、イメージを形にしたものをジョイントさせる。 ●講評。 (中学生・保護者) テラコッタで頭像を作る。 ●作品は、乾燥させた後、焼成する。
-------------	----	--	---------------------	------------	---

実施内容(共同制作) ※1500×850mm1枚もしくは750×850mm2枚パネル	
日本画	『海の底の世界』 ●担当作家が描いた海底をバックに、各自用意したデザイン画を元に描いていく。
洋画	『空想動物園』 ●150mm角のボール紙に空想上の動物園にいる生きものを描く。 ●作家が描いた背景に、貼りつけていく。
彫刻	『踊ろう！』 ●踊っている姿をイメージし、各自用意したデザイン画を元に紙粘土で制作。宇宙や地球をイメージしたパネルに取り付ける。
工芸美術 (陶) (織) (金属)	『縄文パズル』 ●縄文風の造形のパーツに、銘々が好きな縄文風の紋様を施す。炭化焼成後、大きな陶板の形にもどす。原始、古代をイメージして、パネルに貼り仕上げる。 『リボンで夏の風を織ろう』 ●大きな板に、リボンや毛糸などを使って、風をイメージして織り込んでいく。 『海のきらめく魚たち』 ●魚をパーツに分けたアルミ板をたたき、組み合わせて大きな魚を仕上げる。
書	『手書き文字バンザイ!!』 ●扇子に好きな文字を書く。 ●ハガキ大の半紙に好きな文字を書き、切手シートにする (後日→パブリックスペース陳列用)

◎総参加人数 135 組 259 名

## 14 研究冊子及び図書の刊行

### 出版企画実施内容（平成30年度中に刊行または印刷）

#### 改組 新 第5回日展目録

- [判 型] B5判（タテ18.2cm×ヨコ25.8cm）72頁  
[発行日] 平成30年11月2日  
[発行部数] 4,500部  
[定 価] 100円 [税込]  
[内 容] 東京会場全陳列作品題名および作家名・現住都道府県名を掲載  
授賞理由、展示早見表など諸資料掲載  
[表 紙] 藤森兼明  
[製 作] 株式会社新協

#### 改組 新 第5回日展作品集

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）180頁 603点掲載  
[発行日] 平成30年11月2日  
[発行部数] 4,000部  
[定 価] 3,000円 [税込]  
[内 容] 全会員・審査員・受賞者の出品作品をオールカラーで収録  
作家本人による作品解説、釈文(書)、諸資料掲載  
[表 紙] 土屋禮一・根岸右司・能島征二・森野泰明・高木聖雨（出品作・部分）  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

#### 改組 新 第5回日展図録（日本画）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）72頁 305点掲載  
[発行日] 平成30年11月7日  
[発行部数] 2,200部  
[定 価] 3,000円 [税込]  
[内 容] 日本画部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名（読み仮名付）、  
作品寸法、審査所感、諸資料掲載  
[表 紙] 土屋禮一（出品作）  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

#### 改組 新 第5回日展図録（洋画）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）136頁 648点掲載  
[発行日] 平成30年11月7日  
[発行部数] 4,100部  
[定 価] 3,000円 [税込]  
[内 容] 洋画部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名（読み仮名付）、  
作品寸法、審査所感、諸資料掲載  
[表 紙] 根岸右司（出品作）  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

#### 改組 新 第5回日展図録（彫刻）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）68頁 248点掲載  
[発行日] 平成30年11月7日

[発行部数] 700部  
[定 価] 3,000円 [税込]  
[内 容] 彫刻部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名(読み仮名付)、  
作品寸法、審査所感、諸資料掲載  
[表 紙] 能島征二(出品作)  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

#### 改組 新 第5回日展図録(工芸美術)

[判 型] A4判変型(タテ29.7cm×ヨコ22cm) 118頁 558点掲載  
[発 行 日] 平成30年11月7日  
[発行部数] 1,700部  
[定 価] 3,000円 [税込]  
[内 容] 工芸美術部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名(読み仮名  
付)、作品寸法、技法表記、審査所感、諸資料掲載  
[表 紙] 森野泰明(出品作)  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

#### 改組 新 第5回日展図録(書)

[判 型] A4判変型(タテ29.7cm×ヨコ22cm) 204頁 カラー177点、モノクロ1,010点、  
合計1,187点掲載  
[発 行 日] 平成30年11月7日  
[発行部数] 3,900部  
[定 価] 3,000円 [税込]  
[内 容] 書部門の全陳列作品を全会員・審査員・てん刻はカラー、他はモノクロで収録  
作家名・作品題名(読み仮名付)、作品寸法、審査所感、諸資料掲載  
[表 紙] 高木聖雨(出品作)  
[製 作] 富士美術印刷株式会社

#### 絵はがき

[判 型] はがきサイズ(10.5cm×15cm)  
[定 価] 400枚単位—24,000円[税込] (売店販売定価1枚—100円[税込])  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社、半七写真印刷工業株式会社、富士美術印刷株式  
会社

#### カラー写真

[判 型] 2Eサイズ(10.7cm×15.3cm)  
[定 価] 10枚単位—6,000円[税込] (売店販売定価1枚—350円[税込])  
[製 作] 株式会社アートデザインセンター

### 日展ニュースの発行

第169号	平成30年6月29日発行	発行部数	22,000部
第170号	平成30年9月28日発行	発行部数	38,000部
第171号	平成31年1月31日発行	発行部数	22,000部

## 15 美術に関する研究及び調査

### 日展会館・日展新会館企画実施内容

#### [会館スペースの貸出し]

展覧会場や会議・研究会の場として、会館スペースの貸出しを行った。

#### (展覧会)

名 称	展 示 内 容	開催期間・会場	入場者数(人)
第21回JACA手工芸作品 展示会 JACA修了・卒業式	手工芸作品	平成30年 4月6日～4月8日 日展新会館	277
第10回国際ヒーリングア ート芸術協会会員合同展	パステル画作品等	4月12日～4月15日 日展新会館	85
第7回爽創会彫刻展	彫刻作品	4月20日～4月24日 日展新会館	138
第11回プラチナアート大賞展 2018	平面作品(日本画・油彩・ 水彩・版画・パステル等)	5月11日～5月13日 日展新会館	96
中日の芸術家の書画作品展	書画作品	6月10日～6月12日 日展新会館	85
M I O研究会展	洋画作品	7月1日～7月8日 日展新会館	225
第4回菱川賞展覧会	日本画、洋画作品等	9月1日～9月9日 日展新会館	248
第3回千画会展2018	洋画作品	9月16日～9月23日 日展新会館	164
ART-Pal 2018@谷中	絵画、手工芸作品等	9月29日～9月30日 日展新会館	31
第30回 J G S ボタニカルアート展	ボタニカルアートの絵画 作品	10月5日～10月7日 日展会館	537
2018日本青年篆刻展	篆刻作品	10月31日～11月6日 日展新会館	340
慶應義塾中等部 美術部 OB・OG・現役展	絵画作品	11月13日～11月18日 日展新会館	117
第26回漆の美展	漆作品	11月21日～11月25日 日展新会館	230
玄筆会選抜展	書作品	12月7日～12月9日 日展新会館	204

名 称	展 示 内 容	開催期間・会場	入場者数(人)
秋草学園高等学校美術部 第3回鈴華展	絵画作品等	12月14日～12月16日 日展新会館	192
明治大学書道研究部64期 録四展	書作品	平成31年 2月23日～2月24日 日展会館	184
中国絵画六人展	絵画作品	3月9日～3月15日 日展新会館	110
第22回JACA手工芸作品 展示会 JACA修了・卒業式	手工芸作品	3月22日～3月24日 日展新会館	163
葉本武則個展2019	洋画作品	3月25日～3月31日 日展新会館	168

(会議・研究会・教室等 使用団体)

art-Link上野一谷中実行委員会  
 藍の会  
 池袋絵画研究会  
 一般社団法人 新極美術協会  
 芥子園研究会  
 寒玉書道会  
 現代水墨画協会  
 公益財団法人 ヤマハ発動機スポーツ振興財団  
 公益社団法人 日本新工芸家連盟 関東地区会  
 公益社団法人 日本彫刻会  
 秀彩会  
 新象作家協会  
 新日春会  
 新日本美術協会  
 全国水墨画美術協会  
 蒼騎会  
 太陽美術協会  
 朝聞書会  
 東陶会  
 永井画廊  
 白日会  
 蒔絵の会

(平成30年度会館スペース貸出収入) \*金額は税込  
 合計 2,774,050円 前年度比 +11,600円

## [自主企画展]

会館スペースを利用し、自主企画展(入場無料)を開催。

名 称	展 示 内 容	開催期間・会場	入場者数(人)
—所蔵作品展— 色の鼓動	日本画・洋画・工芸美術作品 合計13点	平成30年 5月16日～6月6日 日展新会館	209
第14回Oneday Art 作品発表会	ワンデイアート参加者の 制作による日本画・洋画・ 彫刻・工芸美術・書作品	8月17日～8月21日 日展会館 日展新会館	380
—所蔵作品展— 新しい時代へ	日本画・洋画・彫刻・工芸 美術作品 合計14点	平成31年 1月26日～2月24日 日展新会館	211